

ハッピーレイニーデー

山之内小学校 五年 徳永 大陽

ぼくの提案は、雨の日だけアクセスできる「雨の日ゲーム」のサイトを作ることです。このゲームは、雨の日にだけしかできないようにします。そして、おもしろい仕かけもあり、雨の日にパソコンを開くと、サイトにアクセスできません。そこで、まず雨や水、環境についてのクイズがあり、それをクリアしないとゲームができません。環境の勉強ができるので、親からも「ゲームしてよし」と許可が出ます。そして、ゲームの中ではアイテムが使えます。それは、家庭で取り組んでいる「雨水を利用したこと」や「水を節約したこと」などを書き込めるとポイントがもらえ、アイテムを手に入ねることができ、実行するすると雨水の利用をまじめに考え、実行すると思います。

そんなゲームサイトが実現したら、きっと雨の日が待ち遠しくなります。今まで雨の日

の朝は、学校に行くのが少しいやでした。でも、学校から帰ってゲームが出来るなり、雨が降り、みなが話
ことを勉強すると、次の日学校でもそねが話
題になり、みながで研究するようになります。
そんなことを続けねば、このゲームをやった
人達がみんなな科学者になるかもしれない。
「雨の日ゲーム」は、パソコンだけでなく
ゲームセンターでもできる様になります。その
ゲーム機に入れたお金は、外国の雨の少ない
所、の井戸を掘るために使ったり、洪水で被害
を受けた所に寄付します。ぼく達の日本は、
雨がよく降り、常に水道が使えます。でも世
界には、雨があまり降りず、飲み水にも困る
国があり、作物が育たず、きがで苦んでいる
子供がたくさんいます。

「雨の日ゲーム」が実現すれば、雨が降る
ために、ぼく達は環境のことや世界の貧困に
ついて考え、雨水の利用も増えると思います。
ぼくも雨水タンクを設置しようと思います。

ためた雨水は、植物を育てるために使います。
そして、たよりも早くゲームを攻略したい
です。